

シグマ研究委員会諮問調整委員会 議事概要

日時 : 平成2年11月26日(火) 9:30~12:30

場所 : 原研本部第2会議室

出席者: 木村(京大工)、中沢(東大工)、大竹(データ工学)、松延(住友原子力)、水本(原研)、菊池(原研)、岡本(オブザーバー、原産)

配布資料

1. 「国内における今後の核データの実験活動および将来計画についてのアンケート」結果及びアンケートの集計 水本

議事

1. 前回議事録確認
2. 資料1に基づいて水本氏が「国内における今後の核データの実験活動および将来計画についてのアンケート」の結果報告を行った
3. 資料1のアンケート回答内容に関する討論を行った。また、回答内容の内容別集計を実施し、問題点および今後行うべき実験の要望・研究課題等の分類を行った。集計内容結果は以下の通り。

核データ活動に関するアンケート

1990.11.26

集計結果

1. 発送先	国内核データ測定者	26機関	42部門
	評価者	核データ専門部会員	44名
2. 回答者	総数	37名(内核データ専門部会員 21名(48%))	
	実験者	30名(内兼評価者 6名)	
	評価者	7名	
	回答機関	16(61%)機関	25部門(60%)
		(大学、研究所等)	(学部、研究室等)

実験回答者が使用している装置の内訳

原子炉	加速器	中性子源	荷電粒子	高エネルギー電子線源	その他
(タンデム等)			(サイクロトロン等)		

5	9	6	6	2	2
---	---	---	---	---	---

3. 実験遂行上での困難な点

マンパワー不足	12
装置の性能不足	7
試料の入手難（標準線源を含む）	5
予算不足	5
マシンタイム不足	3
目的とする手持ちの装置がない	2
安全・規制上の制約	2
実験解析のサポート不足	2
魅力の欠如	1

4. 新しい実験への要望

高エネルギー中性子データ	6
高エネルギー陽子（核破砕を含む）	5
荷電粒子（宇宙、医学を含む）	7
Actinide, FP等放射性核種の実験	5
核融合炉用（放射化、荷電粒子放出反応、 荷電粒子反応、中性子データ含む）	4
γ 線生成断面積	2
光核反応	1
偏極中性子	1
研究の進め方に関する意見	9

5. 今後重要となるとと思われる研究課題

高エネルギー領域	6
消滅処理	6
新しい理論の開発	5
荷電粒子	4
加速器	3
核燃料サイクル（廃棄物も含む）	3
光核反応	2
宇宙関連	2
核融合（材料 Kerma）	2
中性子源スポレーション	1
JENDL-3の改良	1
研究の進め方に対する意見	7

6. シグマ委・核データセンターへの要望

サービス/データ処理コード	4
サービス/数値データの送受（データ通信）	2

国際協力	3
PR活動、報告書（出版を含む）	3
新しいデータファイルの整備	2
JENDL-3の改訂	2
独自の評価	1
標準核データ	1
基礎データ	1
測定と評価のネットワーク作り	1
シグマ委・核データ活動に関する意見	6

4. 次回会合予定

平成3年2月15日（金） 1:30 pm 原研本部

1